

福田小学校だより

NO. 13
平成30年
11月2日
文責：学校長

ご参観ありがとうございました

10月31日(水)の学校オープンには、平日にもかかわらず、多くの方にご来校いただきありがとうございました。6月以来の学習参観となりましたが、お子様の成長ぶりを感じられましたでしょうか。

今年度も、1年間の折り返しの時期を迎えました。次回のオープンは11月23日(金・祝)の学習発表会となりますが、その際にも、子どもたち一人一人がしっかりと成長ぶりをお見せできるよう、精一杯努めてまいります。楽しみにお待ちください。

■防災(治水)学習

10月25日に県土木局と土木事務所の方をゲストティーチャーとして、5年生が防災学習の一環の「治水」について勉強しました。近年増加する降雨災害に対してどのような対策をしているのか、模型を使った水害シミュレーションや映像による説明を受けました。

その後、福田小校区のハザードマップを活用して、自分たちの住んでいる場所の危険性と安全確保の方法について、グループで考える学習をしました。



外国語学習(2年)

加東・福田小で県職員の出前授業

水害防止模型で学ぶ 対策の有無違いに驚き

加東市沢部、福田小学校でこのほど、防災について学ぶ5年生が県職員による「総合治水の出前講座」を受けた。台風や長雨などで増加傾向にある水害を防ぐと、模型を使った実験などに取り組んだ。

「総合治水」について県職員が、河川の水を流す▽まちの中でためる▽住民が備える▽の3段階からなると説明。続いて、市街地を模した二つの模型(縦約110cm、横約90cm)を使って水がしみこむ時間を計った。対策を施していない模型では下流域の水がすぐに増えたが、ため池などがある模型は水をためこむ力が増えるのが遅かった。し

大きいことが分かった。小林千夏さん(11)は「増水対策をしているまちは水が増えるのが遅かった。し



っかりした対策が大切だと分かった」と話していた。また、児童たちは自分が住んでいる地域の地図を使い、災害時の避難経路の確認などにも取り組んだ。(笠原次郎)

神戸新聞北播面
(2018. 10. 30)

■韓国の教育大学生 視察受け入れ

10月23日に韓国の京仁(きょんいん)教育大学の学生14名と兵庫教育大学の韓国からの留学生4名が本校の教育活動を視察に来ました。全学級の授業参観の後、5・6年生の外国語活動の授業に参加し、子どもたちと英語などでコミュニケーションを深めました。その後、給食や掃除を一緒に行い、楽しい交流となりました。



韓国の学生と児童交流

加東・福田小 伝統的な遊びも一緒に

仁^{キョ}教育大学の学生14人がこのほど、加東市沢部の福田小学校を訪れ、母国の文化を紹介するなどして児童と交流を深めた。伝統的な遊びの紹介では、子どもた

ちと学生が手をつないで輪になり、笑顔が連なつた。兵庫教育大(同市下久米)が2011年から同大学の学生を招き、小学校訪問などを続けている。今年、兵庫教育大に留学している



韓国の大学生と手をつなぎ、笑顔で触れ合う児童たち―福田小

韓国の学生4人も通訳として同行。学生は7人ずつに分かれ、5、6年生のクラスを訪問した。

6年生(23人)には、宮殿などを彩る原色系の「丹青」という柄について説明。紙に書かれた韓国風の模様、子どもたちは鮮やかな色で塗り絵をして楽しんだ。5年生(19人)には、大学生が韓国の伝統的な遊びを日本語で紹介。児童と学生は韓国語の掛け声とともに手を握り、輪になってぐるぐる回った。

来日は3回目という2年生のユ・ジースーさん(21)は「子どもたちは純粋で活発。授業中は韓国の子より集中力があると思つた」と語り、5年亀田隆

鳳君(10)は「韓国の人は英語のあいさつの仕方を教えてくれて優しくかった」と話していた。

大学生は兵庫教育大付属小学校(同市山国)の児童とも交流し、姫路城などを訪れて27日に帰国する。

(笠原次郎)

神戸新聞北播面
(2018. 10. 28)

